

8

神奈川県⇒鹿児島市

Uターン

富迫 由李さん

グラフィックデザイナー&ディレクター/MBC開発(株)

健太郎さん、幸太郎くん



上/職場には市電で通勤。今までのスキルを生かしつつ、広告制作のディレクションという新しい分野も学ぶ日々。

中/野菜の収穫体験。子どもの食育にもつながっているそう。

移住制度やセミナーの詳細は、次のページをご覧ください!

大阪で生まれ育ち、東京でグラフィックデザイナーとして勤務。結婚をして子どもが生まれたことをきっかけに、もっと自然に囲まれ、温かい人間関係が築ける場所でのびのびと暮らしたいと思うようになり、移住先を検討する中で、東京の有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」を利用。夫のルーツでもあり、元々気に入っていた鹿児島を第一候補に決めました。最も不安に感じていた仕事面では、県の「ふるさと人材相談室」のサポートもあり、希望の職種が無事見つかりました。

昨年、鹿児島市に移住しましたが、ご近所や職場など心温かな方が多く、穏やかで楽しい日々。野菜のお裾分けや子どもへの温かい声かけなど、安心して、子育てができる環境があるように感じています。休日には、県内でのお出かけも。食べ物がおいしくて、自然や温泉など魅力的なスポットが多いですね。

県の「ふるさと人材相談室」は、Uターンの方には特におすすめです。私は、全く鹿児島の土地勘がなかったのですが、相談員さんが、会社の規模感や場所、職種内容などへのアドバイスから入社時期の調整まで熱心にサポートしてくださって、大変助かりました。



地域の中で心温かく、自分たちらしく暮らす

7

東京⇒さつま町

Uターン

是枝 樹さん

菓子職人/是枝商店



上/お母さんと二人三脚で店を切り盛りする。
中/町おこしの一環で、町のブランディング活動にも取り組む。
下/さつま町の移住体験住宅「さつま体験宿」

明治31年創業の菓子店「是枝商店」の四代目として、看板商品の「いちごまんじゅう」を作っています。専門学校卒業後、生まれ育ったさつま町から上京して、飲食業に携わること約10年余り。2020年に感染症で世の中が一変した時、自分と向き合う時間ができ、両親の想いも受けて家業を継ぐため故郷に帰ってきました。父から生地作りなどの方法を教えてもらい、また、自分なりにアレンジも加えて実践する日々。最近ようやく、地元の常連客のみなさんに、「おいし

くなった!」というお声をいただけるように。一から手作りする「いちごまんじゅう」の奥は深いですが、やりがいを感じています。昨年、結婚をして子どもも誕生。また、小・中学校の同級生と一緒に町おこしの活動にも取り組んでいます。家族や仲間にも恵まれ、帰ってきて本当に良かったと思いますね。地元のおじいちゃん、おばあちゃんが昔から慣れ親しんでいた地域の大切な味を作っているという重みを感じながら、これからもこの味を未来へと受け継いでいきたいです。

さつま町には、移住体験住宅「さつま体験宿」というお試し移住ができる施設があり、私もUターン前に利用しました。県内各地に同様の施設があるので、まずは気軽に試してみると、移住後の暮らしがイメージできると思います!

かごしま移住ネット「田舎暮らし体験」

